

C O R R E N T E

Centro Culturale Italo-Giapponese di Kyoto

イタリアそろばんの旅⑤

「型」にはまらない国

木下 和真

私が教えていた小学校の始業時刻は朝8時。日本と比べて非常に早い。週二回、朝の授業がある日は午前7時に起床する。さっと身支度を整え、レジデンス近くのバールへ向かう。朝食はイタリア風にカプチーノとコルネット。コラードさんに教えてもらったお米のプチケーキも添えておく。これで3ユーロほど。さすがコーヒーの国イタリア。朝のカプチーノは一度飲むとやめられない。

小学校まで徒歩5分。大そろばんを片手に通学の流れに乗る。教師の多くは始業の15分前くらいにきているようだった。日本とは違いイタリアの先生の多くは授業だけをする。始業前に学校に来て、終業と同時に生徒と一緒に帰っていく。高校教師なら何校も掛け持ちしている場合も少なくない。私も10分くらい前に学校に到着するようにしていた。

学校に入ると Ciao! Salve! と陽気な挨拶が始まる。挨拶が終わると、容赦ないイタリア語の世界が始まる。もうコラードさんは一緒ではない。

「今日は2組だから先に行って待っていて。三階の奥のクラスね。」

クラス担任が私に言う。四年生は二クラスあり、火曜日は1組から、金曜日は2組からだ。

誰もいない教室に入り、授業のプリントを準備する。少しすると Buongiorno, maestro! と担任に連れられ、子どもたちが入ってくる。どこの国でも子供たちは元気で好奇心大盛だ。子どもに会うと一気に目が覚めて仕事モードに入るのは長年教える仕事をしているからだろう。

今日の授業は足し算とひき算の基礎 lezione 1。何ら難しいことはない。そろばんでの数の表し方が理解できたなら、すぐに簡単な計算ができるはずだった……。



【熱心にそろばんを弾くイタリアの小学生】

まずは0+1からだ。一珠が全て下に下がり、五珠が全て上に上がった状態が0だ。そこに、一珠を一つ親指で上げる。これが1を足す動きだ。逆に、この一玉を人差し指で下ろせば1を引くことになる。

これくらい何の問題もないように思うかもしれないが、そうは問屋がおろしてくれない。

問題は指使いだ。一珠を上げるときは親指を使う。しかし、多くの生徒が人差し指を使って、おはじきをはじくように一珠を上げる。なかなか親指を使ってくれない。

どの指を使っても計算結果は同じだが、指使いは大切だ。初めにきちんと指導しておかないとそ

れぞれが好き勝手な方法で計算をしてしまう。簡単な動作ほど癖になるとなかなか治らないものだ。

もちろん指使いに関する単語、親指 pollice と人差し指 indice は日本でしっかり覚えてきた。けれど、準備と現場は大違いだ。日本ではプライベートレッスンの先生一人にそろばんを教えればよかった。それも非常に熱心な先生で理解も速い。余計な説明は必要ない。それに対しイタリアでは1クラス15人前後。そもそも、そろばんなんてやりたくない子供たちもいる。一度の説明ですんなりと親指を使ってくれるはずもない。

同じ考え方で2も足せる。先ほど問題0+1の答え1に2を足してみる。+2は一珠を二つ上げればよい。親指を使って二つまとめて上に動かすだけだ。

しかしこれまたすんなりとはいかない。1に2を足すのだが、1しか足してくれない子がいる。

「Più 2(たす2だよ); non più 1 (たす1じゃないよ)」

間違えた子に向かって言う。きょんとした顔をしているので、もう一度念を押すように、

「Due(2)」

と、繰り返す。すると、その子も

「Due.」

と、答えた。

「Più 2!」

私は問題の「2」の部分指差しを繰り返す。イタリア語力の無さから単語レベルの説明なのが悲しい。子どものほうも大変だがそんな余裕はない。すると、その子は、そろばんを指差し、

「2!」

と答える。

二人が due と言い合い見つめ合う。何度か見つめ合いを繰り返し、やっとこの生徒の言っていることが理解できた。そう、この子は2を足すのではなく2を作っているのだ。そのため、1しか動かしていないわけだ。

ならばと、2+6をさせてみる。

「più 2」

まず初めの2を入れる。そして、「più 6」と続ける。

するとその子は五珠とすでに入れられている

一珠一つを無理矢理つまんでいる。やはり、6を作ろうとしている……

「足したい数字を動かすのだよ、足したい数字を作るのではないよ」

こういう説明も子どもたちには必要である。

3と4を足す方法も同様だ。三つまとめて動かせば3を、四つまとめて動かせば4を足したことになる。

同様に書いたが、子どもたちは同様にとはいかない。3を足すときは、下の珠三つを示してこの三つを上へあげるのだよと大そろばんを使い説明する。そうすると三ついつぺんにあげてくれると思いきや、uno、due、tre と一つずつバラバラに入れる。

Insieme! (一緒に) Insieme! Insieme!

単語ばかり繰り返す自分が少しむなしくなる……

+1: 0+1, 1+1, 2+1, 3+1
5+1, 6+1, 7+1, 8+1

+2: 0+2, 1+2, 2+2
5+2, 6+2, 7+2

+3: 0+3, 1+3, 5+3, 6+3

+4: 0+4, 5+4

引き算は足し算の逆の操作をすればよい。人差し指で二つの珠を下へおろせば2を、三つなら3、四つなら4を引いたことになる。

-1: 9-1, 8-1, 7-1, 6-1
4-1, 3-1, 2-1, 1-1

-2: 9-2, 8-2, 7-2
4-2, 3-2, 2-2

-3: 9-3, 8-3, 4-3, 3-3

-4: 9-4, 4-4

算数が得意な子にとってはこれくらい朝飯前だ。すぐに理解して、ピコピコと珠をはじいている。すると、

「4に4を足すときはどうするのですか？」と聞いてくる。この方法で1を足せるのは、足しただけの一粒が残っている場合のみ。+1ができるのは、1、2、3、5、6、7、8のとき、4と9は一粒がすべて上がっているので別の考え方が必要になる。+4なら一粒が四つすべて残っていなければならないため、一粒がすべて下におりた0と5にしかたせないのだ。

引き算も考え方は同じで、引きたい数の一粒が上がっている場合のみ計算は可能だ。

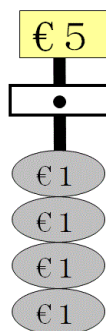
自分で新たな疑問を見つけ質問するなんて素晴らしい！！

そう褒めてあげたいが、ここでもイタリア語力がついてこない。

「また今度説明するからね」

動詞の活用を未来形にするのがささやかな抵抗だ。

5の足し引きは五珠を利用する。五珠一つで5の価値がある。この五珠を梁の方向へ移動させると5を足したことに、上に戻すと5を引いたことになる。一つで5の価値のあるものとして考えられるのが五ユーロ紙幣だ。五ユーロを袋に出し入れするととらえればいい。



6、7、8、9、は組み合わせだ。6を足すときは人差し指で五珠を親指で一粒を挟むようにして動かす。引くときは、逆に一粒と五珠を順に人差し指で払えばいいことになる。

問題はやはり指使いだ。つまむように同時に足せばいいのだが、5を入れてから1、とバラバラに足す子が非常に多い。

「同時に！ そのほうが早いからね」
ここでも insieme の登場だ。

指使いで苦労したのは、小学生より中学生だった。何度も指使いを注意していると、明らかに嫌そうな顔をしている。

「結果は同じなのにどうして自分がやりやすい方法でやってはいけないんだ」

心の声が聞こえる。言われたとて、それを聞き取る力もない。

また姿勢も問題だ。左手の肘をつき、顎を手のひらに乗せ計算をする生徒が非常に多かった。

「Tieni soroban con la mano destra!」と左手をそろばんに添えるように指導する。

「指使い」「姿勢」の指導に精力を使い果たし、そして思う。これらすべては「型」なのだ。まず指使いの「型」を決める。そして、同じ動作の繰り返しにより「型」を固める。結果として自然に指が動くようになる。

姿勢もまた然りだ。左手で(左利きの場合は逆)そろばんを固定し、背筋を伸ばし、右手で計算をする。右手と左手、両方を使うことで、左右のバランスがよくなる。「型」を意識することで、自然と美しい姿勢が身につく、それが精神面にも作用すると思う。

そろばんもやはり「型」を重要視する日本文化の影響を強く受けていることを改めて感じる。

それに対しイタリアはどうだろうか。イタリアで最も人気のあるスポーツはもちろんサッカーだ。サッカーの名選手は、誰も想像しない創造的なプレーで見る者を魅了する。それらの選手はファンタジスタと呼ばれる。「型」にはまらないプレーこそサッカーの醍醐味かもしれない。

お国柄の違いだろうか、ファンタジスタばかりの教室でそろばんを教えるのは一苦労と言えるかもしれない。

(当館語学受講生)

イタリア発月刊日本語新聞



イタリア在住日本人と日本人観光客のための情報誌

編集・発行 NIPPON CLUB SNC
Via Torino, 95 - 00184 Roma, Italy
Tel. & Fax : (06) 4743. 212
E-mail : comeva@nipponclub.it
URL : www.nipponclub.it

イタリア通信

第10回『ボルセッリーノはなぜ殺されたのか』
- Frammenti di verità -

深草 真由子

ベルルスコーニ政権が誕生した1994年をイタリアの歴史の一大転換点と捉え、それ以前を la prima Repubblica、それ以降を la seconda Repubblica と呼ぶことがある。la seconda Repubblica は一体なぜ、どのようにしてできたのだろうか。イタリアの「現在」の始まりを考えるにあたり、振り返るべきは1992年だと思う。今からちょうど二十年前。当時のイタリアは政治的に安定した世界第七位の経済大国。ところが2月には政治家と企業の贈収賄疑獄に対してミラノ地検が Mani pulite (清廉な手)と呼ばれる捜査の手を伸ばし、それまで無敵を誇っていた政党「キリスト教民主主義」が崩壊。その代わりにベルルスコーニや北部同盟など、新しい時代を担うことになる勢力が成長するスペースが準備された。

一方その頃、シチリアマフィア(コーザ・ノストラ)は暴力と破壊、流血事件を繰り返していた。5月23日にはジョヴァンニ・ファルコーネとその妻、三人の護衛警官がパレルモ空港から市内へ向かう高速道路上で、7月19日にはパオロ・ボルセッリーノがパレルモ市内の母親のアパートの前で、五人の護衛警官(うち一人は女性)と共に殺害された。ファルコーネとボルセッリーノはパレルモの貧しい地区で生まれ育った幼馴染であり、判事としてマフィア撲滅を目指して奮闘する同僚であった。1986年に開廷されたイタリア史上前代未聞の規模となるマフィア関連の裁判(Maxiprocesso)で活躍し、反マフィアの専門家として実績を重ねていた。マフィアの脅迫、非協力的な世論の無関心にめげずに、不正を許さず信念を貫いた彼らは、マフィアによって残忍な形で命を奪われた後、イタリアの正義の象徴となった。パレルモ空港が二人を称えて「ファルコーネ・ボルセッリーノ空港」と呼ばれているように、彼らの名を付した学校や通りはイタリア中に存在する。

今回はパオロ・ボルセッリーノの暗殺事件いわゆる「ダメリオ通りの虐殺」の真相に迫ってみたい。執筆にあたっては新聞のオンライン記事のほか、Enrico Deaglio 著 *Il vile agguato. Chi ha ucciso Paolo Borsellino. Una storia di orrore e menzogna* (Feltrinelli, 2012)と Roberto Scarpinato, Antonella Mascali 編 *Le ultime parole di Falcone e Borsellino* (Chiarelettere editore, 2012)を参照した。



【ファルコーネ(左)とボルセッリーノ】

ボルセッリーノ判事の最後の日1992年7月19日は、暑い日曜日だった。判事は朝5時に起床し、ヴァカンスでバリ島に滞在中の娘と電話で話す。海水浴をした後、友人宅で昼食。その後トゥールド・フランスの中継を見る。ボルセッリーノは自転車競技の大ファンであった。その後、ダメリオ通りに住む母親の元へ向かう。母親は心臓を患っていた。前日の土曜日に診療に来るはずだった医師の車が故障したため、日曜日に彼が母親を医師の元へ連れていくことになっていたのだ。17時頃、五人の護衛警官に囲まれたボルセッリーノがダメリオ通りのアパートの呼び鈴を押したと同時に、路上に駐車されてあったフィアット126が爆発。その爆音はパレルモ中に響き渡ったと言う。発見された時、判事の体は黒焦げで、右腕が付け根から無くなっていた。損傷して地面に落ちたアパートの壁や窓ガラスの破片、爆発に巻き込まれた自動車の残骸が、パニック状態の住人や駆けつけてきたパトカー、救急車、消防隊、報道陣。ダメリオ通りはまさに戦場だった。

ボルセッリーノはなぜ殺されたのだろうか？二十年経った今でも謎ばかりである。それらの一部をごく簡単に紹介しよう。

[赤い手帳の行方]

ボルセッリーノ判事は仕事のスケジュールをグレーの手帳に、自分用の覚書、秘密にしておくべき個人的な感情やエピソードなどは赤い手帳に記していた。しかし、殺害現場でカラビニエーレが押収した判事の鞆の中から見つかったのはグレーの手帳のみ。判事が一体何を見、何を考えていたのか、どのような情報を握っていたのかが記されていたはずの赤い手帳は、事件の真相解明のカギであるにもかかわらず、見つかっていない。爆発の際に持ち主と一緒に消えてしまったのだろうか、あるいは何者かが隠蔽目的で盗み去ったのだろうか。

[ドンの供述]

コーザ・ノストラの No.1、サルヴァトーレ・リイナは二十四年間の逃亡生活の末、1993年1月に逮捕された。ファルコーネとボルセッリーノの暗殺を含め十九件もの殺人を犯し、終身刑に服している。リイナは2009年、ボルセッリーノ事件への関与を否定し、「L' hanno ammazzato loro (彼を殺したのは奴らだ)」と供述した。彼の言葉が信用に値するものであるならば、「奴ら」とは一体誰を指すのだろうか。

[隠されたインタビュー]

1992年5月21日ボルセッリーノはフランスのテレビ局の取材に応じた。70年代以降マフィアが麻薬取引によって莫大な利益を得ていること、マネー・ロンダリングを通して築いた銀行家との関係、投資先としての北イタリア、特にミラノの産業界との関係について、ボルセッリーノはパレルモ地検で捜査が進行中であると答えている。興味深いのは、判事自身は言葉を濁しているものの、ミラノにおける「橋頭保」的役割をしていたコーザ・ノストラのメンバーと、当時はまだ実業家で、この数年後に首相になるベルルスコーニの怪しげなコネクションについての言及である。2002年、重罪院はこのインタビューの存在を、ボルセッリーノ暗殺の動機の一つとして位置付けた。マフィア側にとっては、味方に引き入れておくべき人物(ベルルスコーニ)の利害を考慮し、ボルセッリーノ抹殺を急ぐ必要性があったというのである。このインタビュー映像は収録されてから八年後、衛星チャンネルで

たった一度だけ、しかも大幅にカットされた形で放送された。もっと早い段階で、もっと大々的に話題になっていたならば、今のイタリアはない!?

[ボルセッリーノの孤独]

6月29日、パレルモ裁判所内のオフィスを訪ねてきた二人の後輩判事を前に、ボルセッリーノはむせび泣きながら打ち明けた。「仲間に裏切られるとは…。ここは毒ヘビの巣だ」と。実際、ボルセッリーノは同僚の間で孤立していた。マフィアの敵として殺人予告されていたにもかかわらず、彼の警護が強化されることはなかったし、ダメーリオ通りの路上駐車を取り締まりも行われなかった。しかもこの前日、反マフィアで協調しているはずの国防省警察(L' Arma dei Carabinieri)が裏でマフィアと通じていること、マフィアが自分を殺すために発注した爆薬トリット100キロがパレルモに到着したという情報を直属の上司が自分に黙っていたことを、ボルセッリーノは偶然に知ったのであった。

[見知らぬ協力者]

ダメーリオ通りの虐殺に関与したことを認め、現在は捜査に協力しているマフィア構成員によると、事件の前日の7月18日、盗難車のフィアットに爆薬を仕掛ける際、見知らぬ人物つまり組織外の何者かがいたという。この情報提供者は二十年近く経過しているために記憶は定かではないと前置きした上で、その人物は Sisde (情報民主主義保安庁: イタリアの防諜機関) のメンバーの一人であると指し示した。



【ダメーリオ通りの爆破現場】

[パレルモの城]

殺害現場となったダメーリオ通りの側に標高346メートルの小山があり、その山頂に建つ城の

内部に Sisde の活動拠点があったことが確認されている。ボルセッリーノ殺害に関与したマフィア構成員と城との間の通信記録が存在することから、Sisde 内部に協力者がいたものと考えられている。城のテラスからはダメリオ通りがよく見える。この場所で何者かがボルセッリーノの到着を見計らい、フィアット爆弾を操作したのではないかと推測されている。



【ボルセッリーノ判事】

2011 年からパレルモ地検によって「国家とコーザ・ノストラ間の折衝疑惑」についての捜査が行われている。1992 年 6 月頃、ボルセッリーノ暗殺の直前に、元パレルモ市長という肩書をもつマフィア構成員を仲介にして、国防省警察とマフィアのボスとの間で取引があったのではないかと推測されている。体制側は Maxiprocesso の再審、暫定措置令 41bis (刑務所についての法律) の破棄など、マフィア側の要求を飲む代わりに、マフィアは裁判官や警察、文化施設を標的としたテロを実行しないという取り決めであったとされる。しかも当時の内務大臣や法務大臣までもが、その内容を承知していたのではないかと疑われている。協定を断じて許さなかったであろうボルセッリーノは、マフィアのみならず体制にとっても邪魔な存在であり、それが故に殺される運命にあったのだろうか。であればその時、イタリアはマフィアと共存する道を選んだということになるのだが…。

(元当館スタッフ)

… 会館 だ よ り …

イタリア語 無料体験レッスン

10月より開講の秋期イタリア語講座に向けて、体験レッスンを開催します。入門者向け。事前予約制。

● 京都本校: 日本イタリア京都會館

10/ 6(土) 11:00~12:30

10/ 6(土) 13:00~14:30

10/ 9(火) 11:00~12:30

● 四条烏丸: ウイングス京都

10/ 1(月) 19:00~20:30

● 梅田: 大阪駅前第4ビル

10/ 5(金) 19:00~20:30

10/ 7(日) 13:00~14:30

スペイン語 無料体験レッスン

入門者向け。事前予約制。

日時: 10/ 6 (土) 16:00~17:30

会場: 日本イタリア京都會館 本校

講師: 当館スペイン語講師

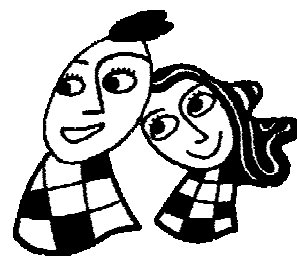
ポルトガル語 無料体験レッスン

入門者向け。事前予約制。

日時: 10/ 5 (金) 11:00~12:30

会場: 日本イタリア京都會館 本校

講師: 当館ポルトガル語講師



編集・発行 // (財) 日本イタリア京都會館
 〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮町 4
 TEL: (075) 761-4356/FAX: (075) 761-4357
 E-mail: centro@italiakaikan.jp
 URL: <http://italiakaikan.jp/>